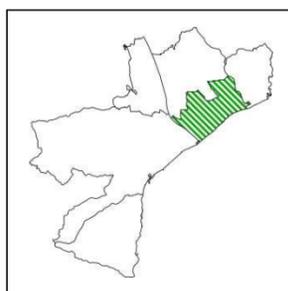


3-6. 川東南部地域の主な事業・取り組み（下府中地区、富士見地区、国府津地区、酒匂・小八幡地区）



寶金剛寺境内の庭



中里付近の工場や商業施設外周の緑化

■みどりの概況

- 川東南部地域の東側は、大きな稜線を描く大磯丘陵となっていますが、地域の多くは概ね平坦な土地で、比較的大規模な工場や商業施設が集積し、市街化区域が7割を占めています。
- 酒匂川、森戸川、下菊川、酒匂堰など、河川や水路がバランスよく存在しているのが特徴です。
- 現況調査によると、緑被率は28.9%と市内で最も低く、特に中里地区が10%弱と低い状況にあります。みどりの配置の中心は大磯丘陵をはじめとする樹林地や農地であり、低地部にはまとまったみどりを殆ど見ることができませんが、神社仏閣が立地する古くからの住宅街等では、比較のみどり豊かなまち並みが形成されています。また、生産緑地地区が点在しており、居住地域におけるみどりの空間づくりに寄与しています。
- 昭和20年代後半の早い時期から工場誘致が行われ、中里地区などに企業が進出しました。近年は工場跡地などに大型商業施設等が進出し、その敷地外周を緑化するなど、企業による緑化活動も推進されています。
- みどりに関する施設については、大規模な公園がなく、身近な街区公園も少ないことから、都市公園に代わる機能を有する公共施設緑地を考慮しても、市内で最も整備水準が低い状況となっています。

■みどりの課題

- 市民アンケートでは、「もっと緑があるといい」、「子どもの遊び場が欲しい」、「支障となる街路樹の対策」など、みどりに対する満足度が低い結果となっていることから、工場や商業施設における民有地緑化の推進や街路樹の再整備、身近な都市公園の活性化エリアにおける都市公園の整備などに取り組む必要性があります。

■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	32	40,736.9 m ²	街区公園
公共施設緑地	16	156,262.9 m ²	みどりの広場(鴨宮、酒匂大道、小八幡)、小学校校庭(矢作、国府津、富士見、下府中、酒匂)、中学校校庭(鴨宮、国府津、酒匂)、市営住宅内公園(浜)、下水処理場広場(酒匂きりり広場)、農村公園(田島ふれあい広場)、屋外スポーツ施設(酒匂川左岸サイクリング場、鴨宮運動場)
地域制緑地	保安林、地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、風致地区、保存樹林、河川区域(酒匂川、森戸川)		

主なみどりの資源：
酒匂堰、下菊川、菅原神社、加茂神社、春光院、酒匂神社、小八幡八幡神社、津島神社、田島の横穴古墳、岩瀬邸、等

